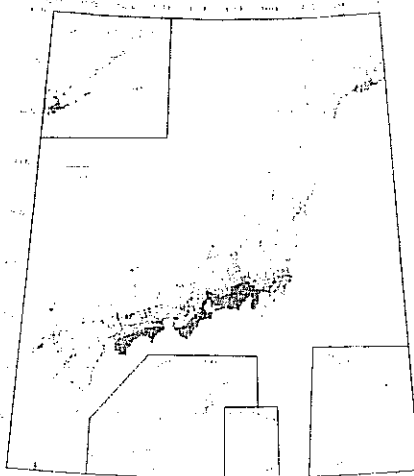


# 読賣新聞

2008年(平成20年)

4月25日 金曜日

## 大地震 ココが危ない



今後30年の予測地図

色が濃い地域ほど、震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が高い(文部科学省提供)

政府の地震調査委員会は24日、今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率を地域ごとに算出した地震動予測地図(2008年版)を公表した。東南海地震やサロベツ断層帯(北海道)の地震などの発

生確率が高まり、関東以西の太平洋沿岸や道北部で確率が上昇した。昨年行った活断層の評価見直しを加味し、計算の基準日を今年1月1日に更新した。都道府県庁や北海道支庁の所在地別でみると、

津市が63%(昨年比1.3割増)、名古屋市が38.3%(同0.6割増)、静岡市が87.1%(同0.2割増)となった。

全国各地の確率は防災科学技術研究所のホームページ(<http://www.jshis.hosai.go.jp/>)で見られる。